



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月7日

上場会社名 株式会社 大水
コード番号 7538 URL <https://www.daisui.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 山橋 英一郎
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営管理部長 (氏名) 山本 敬史
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 06-6131-5190

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	47,232	1.3	262	39.4	296	36.3	308	64.2
2023年3月期第2四半期	46,613	16.2	188		217		188	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 731百万円 (376.9%) 2023年3月期第2四半期 153百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	22.98	
2023年3月期第2四半期	14.09	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	23,738	8,919	37.6
2023年3月期	22,488	8,232	36.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 8,919百万円 2023年3月期 8,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		5.00	5.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	1.6	470	8.7	630	5.3	600	14.5	44.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	13,774,819 株	2023年3月期	13,774,819 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	285,154 株	2023年3月期	359,237 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	13,437,413 株	2023年3月期2Q	13,349,544 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症からの経済・社会活動の正常化が進み、景気は緩やかに回復に向かいました。旅行・外食などのサービス消費を中心に、個人消費は持ち直しております。また、訪日外国人数の増加によりインバウンド需要も回復に向かっております。一方、消費者物価の高止まり、各国における金融引き締めや中国経済の先行き懸念など、景気後退につながるリスクは存在しております。

当水産流通業界におきましては、訪日外国人の増加や各種イベントの復活等により外食を中心に消費は回復傾向になりました。しかし、販売環境については、天然魚の漁獲が低位で推移し加えて円安も影響して魚価は高値圏が続いており、生活様式の変化や物価上昇による消費者の生活防衛意識が高まっています。今後ALPS処理水の海洋放出による影響も懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、安全・安心な水産物を安定供給するという社会的使命を果たすべく、産地出荷者とのネットワークの強化等に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は472億32百万円（前年同期比1.3%増）となりました。損益面では、営業利益は2億62百万円（前年同期比39.4%増）、経常利益は2億96百万円（前年同期比36.3%増）、また親会社株主に帰属する四半期純利益は3億8百万円（前年同期比64.2%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

（水産物販売事業）

水産物販売事業は、売上については昨年から外食需要の回復傾向が続いており、市場部門は順調に推移しました。鮮魚関係では、天然魚は水揚げが少なく特にスルメイカ、カレイ類等の大衆魚が減少しましたが、養殖物を中心にブリ類・サケ類の売上が増加しました。塩冷関係ではチリメン、シラス等の干魚類にて取扱数量は減少したものの魚価高の影響により売上は前年を上回りました。市場外部門については、量販店等小売り業態への販売は魚価高の影響から売上は前年を上回ったものの、利益率の確保が難しい環境が続きました。

一方、輸入冷凍魚については一部の魚種で相場下落がありましたが、円安の進行や原材料価格の増大により依然として高値圏となっており、取扱数量は減少となったものの販売単価の上昇により売上は増加しました。

損益面では輸入冷凍魚を中心に利益率の確保に苦戦し売上総利益は前年同期を下回りました。しかし、輸出入部門におけるフレート代等の販売費の減少によりセグメント利益は前年同期の実績を上回りました。その結果、売上高が471億20百万円（前年同期比1.3%増）となり、セグメント利益は3億19百万円（前年同期比23.0%増）となりました。

（冷蔵倉庫等事業）

冷蔵倉庫等事業は、保管料及び荷役作業収入の増加により売上高が1億37百万円（前年同期比21.6%増）となり、セグメント利益は12百万円（前年同期はセグメント損失7百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて12億50百万円増加し、237億38百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が5億99百万円、投資有価証券が6億24百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて5億63百万円増加し、148億19百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が16億4百万円増加した一方で、短期借入金が12億円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6億86百万円増加し、89億19百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益を3億8百万円計上したこと等によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、28億69百万円（前年同期比5億65百万円増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の増加による資金の増加（16億4百万円）、売上債権の増加による資金の減少（5億85百万円）等により11億90百万円の収入（前年同期は24億89百万円の支出）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による資金の増加（2億円）等により2億20百万円の収入（前年同期は49百万円の収入）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少（12億円）等により12億68百万円の支出（前年同期は26億44百万円の収入）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績見通しにつきましては、2023年5月12日付の「2023年3月期 決算短信」にて公表いたしました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,906	2,869
受取手形及び売掛金	8,353	8,952
有価証券	28	28
商品及び製品	5,681	5,681
未収消費税等	5	37
その他	212	296
貸倒引当金	△71	△77
流動資産合計	17,115	17,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	755	734
土地	1,723	1,723
その他 (純額)	192	175
有形固定資産合計	2,670	2,632
無形固定資産		
	69	73
投資その他の資産		
投資有価証券	2,370	2,995
長期貸付金	348	345
破産更生債権等	239	239
固定化営業債権	988	955
その他	101	98
貸倒引当金	△1,415	△1,388
投資その他の資産合計	2,633	3,244
固定資産合計	5,373	5,950
資産合計	22,488	23,738

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,602	8,207
短期借入金	2,650	1,450
1年内返済予定の長期借入金	250	250
未払金	388	423
未払法人税等	35	21
賞与引当金	152	153
その他	424	383
流動負債合計	10,503	10,888
固定負債		
社債	600	600
長期借入金	600	600
繰延税金負債	239	435
再評価に係る繰延税金負債	276	276
役員退職慰労引当金	78	84
退職給付に係る負債	1,467	1,453
その他	489	481
固定負債合計	3,751	3,930
負債合計	14,255	14,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	2,749	2,752
利益剰余金	4,292	4,533
自己株式	△91	△72
株主資本合計	7,050	7,314
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	917	1,347
繰延ヘッジ損益	△18	△14
土地再評価差額金	193	193
退職給付に係る調整累計額	89	79
その他の包括利益累計額合計	1,182	1,605
純資産合計	8,232	8,919
負債純資産合計	22,488	23,738

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	46,613	47,232
売上原価	43,009	44,024
売上総利益	3,604	3,208
販売費及び一般管理費	3,415	2,945
営業利益	188	262
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	42	46
受取賃貸料	85	88
貸倒引当金戻入額	1	—
その他	6	8
営業外収益合計	138	143
営業外費用		
支払利息	13	10
賃貸費用	49	48
為替差損	44	48
その他	1	3
営業外費用合計	109	110
経常利益	217	296
特別利益		
投資有価証券売却益	1	28
特別利益合計	1	28
特別損失		
減損損失	1	—
特別損失合計	1	—
税金等調整前四半期純利益	217	324
法人税、住民税及び事業税	63	21
法人税等調整額	△34	△5
法人税等合計	29	16
四半期純利益	188	308
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	188	308

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	188	308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	430
繰延ヘッジ損益	11	3
退職給付に係る調整額	△0	△10
その他の包括利益合計	△34	422
四半期包括利益	153	731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153	731
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	217	324
減価償却費	55	57
株式報酬費用	11	7
のれん償却額	1	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18	0
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5	5
長期未払金の増減額 (△は減少)	△7	△9
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△21
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7	△46
受取利息及び受取配当金	△44	△47
支払利息	13	10
為替差損益 (△は益)	△16	△20
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△28
減損損失	1	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△739	△585
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,203	△0
その他営業債権の増減額 (△は増加)	17	△100
仕入債務の増減額 (△は減少)	64	1,604
その他営業債務の増減額 (△は減少)	3	29
未収消費税等の増減額 (△は増加)	69	△32
未払消費税等の増減額 (△は減少)	5	△15
その他	△0	15
小計	△2,524	1,152
利息及び配当金の受取額	44	47
利息の支払額	△15	△11
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	5	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,489	1,190
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200	—
定期預金の払戻による収入	200	200
投資有価証券の取得による支出	△4	△0
投資有価証券の売却による収入	2	43
有形固定資産の取得による支出	△12	△8
有形固定資産の除却による支出	0	—
無形固定資産の取得による支出	△1	△12
貸付けによる支出	△19	△43
貸付金の回収による収入	83	46
その他投資の取得による支出	△0	△5
その他投資の回収による収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	49	220
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,700	△1,200
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△53	△65
リース債務の返済による支出	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,644	△1,268
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	20
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	220	162
現金及び現金同等物の期首残高	2,083	2,706
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,303	2,869

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	46,525	88	46,613	—	46,613
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	24	24	△24	—
計	46,525	113	46,638	△24	46,613
セグメント利益又は損失(△)	259	△7	251	△63	188

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△63百万円のうち、△65百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、1百万円はセグメント間取引消去であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

水産物販売事業セグメントにおいて、1百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産物 販売事業	冷蔵倉庫 等事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	47,120	112	47,232	—	47,232
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	25	25	△25	—
計	47,120	137	47,258	△25	47,232
セグメント利益	319	12	332	△69	262

(注) 1. セグメント利益の調整額△69百万円のうち、△69百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
水産物販売事業		
鮮魚	18,629百万円	19,692百万円
塩冷その他	27,895	27,428
冷蔵倉庫等事業	88	112
顧客との契約から生じる収益	46,613百万円	47,232百万円
その他の収益	－百万円	－百万円
外部顧客への売上高	46,613百万円	47,232百万円